

1. 件名

NEDO 研究開発プロジェクトにおけるリスクマネジメントの高度化のための調査

2. 目的

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という）の第5期中長期計画では、各プロジェクトにおいてプロジェクト終了後に達成するアウトカム目標（温室効果ガス削減量や市場創出効果など）と、その道筋を示すことを重視しており、これらを論理的に説明するためには様々なリスクを把握し、その影響を見積もり、対応策を考える必要がある。

NEDOが推進する研究開発プロジェクトは、不確実性や研究開発リスクが高く、これらを適切に見積もってコントロールすることが重要である。また、NEDOで研究開発プロジェクトを担当する職員のマインドセット構築を目的としたNEDO研究開発マネジメントガイドラインにおいても、リスクマネジメントについて言及され、その重要性が示されている。このように、研究開発プロジェクトにおいてリスクをマネジメントすることの重要性については十分認識されているものの、リスクの把握や評価、対応策の検討方法については、プロジェクトごとに独自に工夫している状況であり、その高度化や知識化が期待されている。

そこで、本調査では従来のNEDO研究開発プロジェクトにおけるアウトカム達成のためのリスクマネジメントを強化し、マネジメント全体の高度化に貢献することを目的とし、プロジェクト立案時においてアウトカム達成に向けて考慮すべきリスクを「特定」し「分析評価」する手法をとりまとめる。また、プロジェクト実施中にリスクを「見直し」、「再評価」して「対応を準備・実施」する手法をとりまとめる。

3. 内容

上記の目的を達成するために次の項目を実施する。実施にあたっては、NEDO との密接な連携の下で行うものとする。なお、2024年1月末までに中間報告を行うこと。

(1) プロジェクト立案時におけるリスクマネジメント

より精度の高いプロジェクト基本計画の策定に貢献するため、複数のNEDO研究開発プロジェクトを事例としてプロジェクト立案時点において、各プロジェクトのアウトカム達成までのリスク分析のベースとなる想定リスクを整理し、それぞれの影響度合いを定性的・定量的に評価する。定量的な評価においては、一般的な定量分析と可視化手法を活用して示唆を導く。また、共通的な事項を抽出することなどによって基本計画策定時の一般的なリスク評価手法としてとりまとめる。なお、対象とするプロジェクトはNEDOと相談して決定する。

(2) プロジェクト実施中におけるリスクマネジメント

より適時適切にプロジェクト基本計画の見直しができるようにするため、複数のNEDO研究開発プロジェクトの事例について、各プロジェクトのアウトカムへの道筋に至る想定リスクを定性的・

定量的に再評価の上で、それぞれのリスク対応策を示す。また、共通的な事項を抽出することなどによってプロジェクト実施中の一般的なリスクマネジメント手法としてとりまとめる。なお、対象とするプロジェクトは NEDO と相談して決定する。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2024 年 3 月 31 日まで

5. 報告書

提出期限: 2024 年 3 月 31 日

提出方法: NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容: 「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

7. その他

本仕様書に定めなき事項については、NEDO と実施事業者が協議の上で決定するものとする。

以上